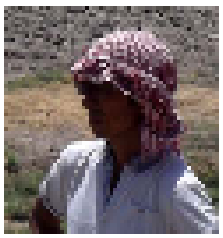
小泉 龍人 Tatsundo KOIZUMI

2016 年 6 月 1 日現在



■取り組んでいるテーマ等

・個人研究課題：イスラーム前の西アジア家族史についての考古学的研究

・フィールド：西アジア、トルコ東南部（ティグリス川上流域、銅石器時代：都市形成期）

・専門分野：　考古学（工芸技術の専業化、社会の複雑化、メソポタミア都市文明の起源）
比較都市論（北アフリカ～汎アジアの都市化と国家形成）
古代酒（ワインの起源、御神酒の出現）
遺物化学分析（工芸品の焼成温度、彩文の顔料成分）
実験考古学（彩文土器の復元製作）

■略歴

1988.3　早稲田大学第一文学部卒
1990.3　早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了
1993.4　早稲田大学文学部 助手（～1996.3）
1996.3　早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学
1996.4　東京大学東洋文化研究所 研究機関研究員（～1998.3）
1998.9　博士（文学）学位取得（早稲田大学）
2000.7　早稲田大学比較考古学研究所 客員研究員（～2011.3）
2001.4　国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員
2005.4　財団法人 古代オリエント博物館 非常勤研究員（～2010.3）
2014.4　早稲田大学総合人文科学研究センター 招聘研究員

■教育活動

1996.4　早稲田大学文学部 非常勤講師「東洋文化研究」（～1998.3）
1998.4　東京大学東洋文化研究所 非常勤講師「激動するイスラーム圏の政治・社会構造の変容過程の研究」（～2001.3）
2000.10　清泉女子大学 非常勤講師「考古学」
2001.4　早稲田大学文学部 非常勤講師「考古学基礎講義・原始古代の社会と宗教」（～2004.3）
2001.4　東京学芸大学教育学部 非常勤講師「地域考古学特講」（～2001.9）
2001.9　日本大学文理学部 非常勤講師「考古学特講・考古学演習・考古学研究実習・外国考古学概説・考古学」
2003.4　早稲田大学人間科学学術院 非常勤講師「東洋史・オリエント史」
2003.4　明治大学文学部 兼任講師「考古学史と方法論・オリエントの考古学・考古学概論」（～2008.3）
2004.4　日本大学通信教育部 非常勤講師「考古学入門・考古学特講・考古学演習・考古学概論」
2009.4　明治大学文学部 兼任講師「オリエントの考古学・考古学概論」（～2016.3）
2011.4　早稲田大学国際教養学部 非常勤講師「Archaeology and the Ancient World, Theory and Methods of Archaeology」（～2014.3）
2013.4　多摩美術大学 非常勤講師「考古学」
2014.4　京都橘大学 非常勤講師「世界遺産論」（～2016.3）

■受賞歴

1998.10　日本オリエント学会第 20 回奨励賞

■主要業績

・単著

小泉龍人『都市の起源 古代の先進地域=西アジアを掘る（選書メチエ）』講談社、2016.3.
ブライアン・フェイガン『考古学のあゆみ 古典期から未来に向けて』小泉龍人 訳 朝倉書店、2010.1.
小泉龍人『都市誕生の考古学（世界の考古学）』同成社、2001.11.

・分担執筆

後藤明 木村喜博 安田喜憲 編 小泉龍人ほか『朝倉世界地理講座 第６巻 西アジア』朝倉書店、2010.9.
岡内三眞 菊池徹夫 編 小泉龍人ほか『社会考古学の試み』同成社、2005.3.
菊池徹夫 編 小泉龍人ほか『文字の考古学Ⅰ（世界の考古学）』同成社、2003.3.
高橋龍三郎 編 小泉龍人ほか『現代の考古学６　村落と社会の考古学』朝倉書店、2001.10.

・学位論文

小泉龍人『ウバイド文化における墓制の地域的研究―土器と墓から見た社会―』早稲田大学、1998.9.

・報告書

Koizumi, Tatsundo, Minoru Yoneda, Shigeru Itoh and Kouchi Kobayashi. “Excavations of the Chalcolithic Occupations at Salat Tepe on the Upper Tigris, Southeastern Anatolia.” *The Archaeology of the Kurdistan Region of Iraq and Adjacent Regions*. Edited by Konstantinos Kopanias and John MacGinnis: Oxford: Archaeopress. (in press)

小泉龍人「彩文土器の焼成実験―西アジア都市形成期の土器製作技術―」岡内三眞 編『技術と交流の考古学』同成社、2013.1、121-132.

Koizumi, Tatsundo and Hiroshi Sudo. “The Stratigraphy and Architectures of Sector B of Tell Kosak Shamali.” *Tell Kosak Shamali: The Archaeological Investigations on the Upper Euphrates, Syria, Vol. 1: Chalcolithic Architecture and the Earlier Prehistoric Remains*. Edited by Yoshihiro Nishaki and Toshio Matsutani: Oxford: Oxbow Books, 2001.3: 115-152.

・学術論文

Koizumi, Tatsundo. “Pyrotechnological Development from the Halaf-Ubaid to Late Chalcolithic Periods in Upper Mesopotamia: A Preliminary Study on Pottery from Salat Tepe, southeastern Turkey.” *Trajectories of complexity in Upper Mesopotamia: processes and dynamics of social complexity and their origin in the Halaf period*. Edited by Marco Iamoni: Wiesbaden: Harrassowitz. (in press)

小泉龍人「古代西アジアの酒―新石器時代から銅石器時代まで―」『西アジア考古学』第 17 号（2016.3)、1-12.

小泉龍人「西アジア都市形成期の土器焼成技術―分析方法の提案と焼成温度・彩文顔料の考察―」『西アジア考古学』第 15 号（2014.3)、1-21.

小泉龍人「都市論再考―古代西アジアの都市化議論を検証する―」『ラーフィーダーン』第 34 巻（2013.3)、83-116.https://www.academia.edu/25110014/An_Archaeological_Review_of_the_West_Asian_Urbanization_Comparison_and_Investigation_of_the_Previous_Studies_in_Japanese_

小泉龍人「西アジアの火―土器焼成窯と温度―」菊池徹夫 編『比較考古学の新地平』同成社、2010.2、993-1002.

小泉龍人「古代西アジアの土器製作技術―文化の拡散経路と都市化―」『国士舘考古学』第２号（2006.9)、1-21.

小泉龍人「イラク戦争と文化遺産問題―被害状況と今後の対応―」『明日への文化財』文化財保存全国協議会、第 52 号（2004.6)、3-15.

小泉龍人「西アジアにおける先史時代文化の重層性―ウバイド期の墓制形成―」松原正毅 後藤明 編 JCAS 連携研究成果報告 『西アジア社会の重層的構造』 国立民族学博物館地域研究企画交流センター、2003.、13-56.

小泉龍人「ウルク・ワールド・システムとは何か」『西アジア考古学』第３号（2002.3)、47-49. http://jswaa.org/wp-content/themes/jswaa/pdf/jwaa/03/JWAA_03_2002_047-49.pdf

小泉龍人「ウルク・ワールド・システムの彼方」『西アジア考古学』第３号（2002.3)、67-73. http://jswaa.org/wp-content/themes/jswaa/pdf/jwaa/03/JWAA_03_2002_067-073.pdf

小泉龍人「古代メソポタミアの土器生産―製作技術と工房立地から見た専業化―」『西アジア考古学』第１号（2000.3)、11-31. http://jswaa.org/wp-content/themes/jswaa/pdf/jwaa/01/JWAA_01_2000_011-031.pdf

小泉龍人「前４千年紀の西アジアにおけるワイン交易―ゴディン・テペからの一考察―」『東洋文化研究所紀要』第 139 冊（2000.3)、207-238. http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/dspace/bitstream/2261/2031/1/ioc13906.pdf

・学会発表

Koizumi, Tatsundo. “A Pyrotechnological Study of the Ubaid and Late Chalcolithic Pottery: Estimated Firing Temperatures.” Presented at the *10th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*, Institute for Oriental and European Archaeology, Austrian Academy of Sciences, Vienna, April 27 2016.

小泉龍人ほか 3 名「彩文定着に向けた施文法と燃料選択―2014 年の焼成実験―」日本考古学協会第 81 回総会研究発表 帝京大学 2015 年 5 月 24 日.

Koizumi, Tatsundo. “Preliminary Results of the 2011-2013 Excavations on Salat Tepe in the Upper Tigris: the Ubaid and Late Chalcolithic periods.” Presented at the *9th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*, University of Basel, June 13 2014.

Ökse, A. Tuba, Ahmet Görmüş, Tatsundo Koizumi and Nevin Soyukaya. “Salat Tepe 2013 Kurtarma Kazıları.” Presented at the *36th International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry*. Republic of Turkey, Ministry of Culture

and Tourism, General Directorate for Cultural Heritage and Museums, Zeugma Mosaic Museum, Gaziantep, June 4 2014.

小泉龍人ほか 5 名「彩文土器の復原実験―古代西アジアの昇焔式土器焼成窯―」日本考古学協会第 80 回総会研究発表 日本大学文理学部 2014 年 5 月 18 日.

Koizumi, Tatsundo. “Excavations of the Chalcolithic levels at Salat Tepe on the Upper Tigris, Southeastern Anatolia.” Presented at the *Archaeological Research in the Kurdistan Region of Iraq and the Adjacent Areas*, University of Athens, November 2 2013.

小泉龍人「銅石器時代の土器復原研究―窯壁と顔料の理化学的分析―」日本西アジア考古学会第 18 回総会・大会 東京大学 2013 年 6 月 1 日.

Ökse, A. Tuba, Ahmet Görmüş, Tatsundo Koizumi and Nevin Soyukaya. “IIlısu Barajı-Salat Tepe 2012 Kazıs.” Presented at the *35th International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry*. Mugla Sitki Kocman University, Muğla, May 29 2013.

小泉龍人 齋藤正憲「オリエント都市形成期の土器製作復原―小型土器焼成窯の改良と牛糞藁の燃料化―」日本オリエント学会第 54 回大会 東海大学 2012 年 11 月 25 日.

小泉龍人「メソポタミア都市形成期の彩文土器―ウバイド土器の理化学的分析と焼成実験―」日本西アジア考古学会第 17 回総会・大会 筑波大学 2012 年 6 月 10 日.

Ökse, A. Tuba, Ahmet Görmüş, Tatsundo Koizumi, Deiz Yaşin Meier and Nevin Soyukaya. “Ilısu Barajı-Salat Tepe 2011 Kazısı.” Presented at the *34th International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry*. Hitit University, Çorum, May 30 2012.

Ökse, A. Tuba, Ahmet Görmüş, Tatsundo Koizumi, Deiz Yaşin Meier and Nevin Soyukaya. “Ilısu Barajı-Salat Tepe 2010 Yılı Kazısı.” Presented at the *33rd International Symposium of Excavations, Surveys and Archaeometry*. Inönü University, Malatya, May 25 2011.

小泉龍人「西アジア彩文土器の復原焼成実験」早稲田大学考古学会第 15 回研究発表会 早稲田大学 2009 年 12 月 19 日.

小泉龍人「ウバイド彩文土器の吸着実験―操窯と昇温について―」日本西アジア考古学会第 14 回総会・大会 広島大学 2009 年 6 月 14 日.

小泉龍人 齋藤正憲「古代オリエントの土器製作復原―土器焼成窯の構築と彩文土器の焼成実験―」日本オリエント学会第 50 回大会 筑波大学 2008 年 11 月 2 日.

Koizumi, Tatsundo. “The Ubaid Pottery Sequence from Tell Kosak Shamali on the Syrian Upper Euphrates.” Presented at *The Ubaid Expansion? Cultural Meaning, Identity and Integration in the Lead-up to Urbanism*, University of Durham, April 21 2006.

小泉龍人「古代西アジアの土器製作技術」国士舘大学考古学会第 3 回研究集会 国士舘大学 2002 年 3 月 23 日.

小泉龍人「討論会：「ウルク・ワールド・システム」をめぐって―都市形成期の文化拡散―」日本西アジア考古学会第 6 回総会・大会 中近東文化センター 2001 年 6 月 3 日.

・事典等項目

小泉龍人「アリ・コシュなど 23 項目」日本オリエント学会 編『古代オリエント事典』岩波書店、(2004.12).

■外部資金

基盤研究(C)「オリエント都市形成期における土器焼成技術と彩文顔料の横断的研究」(2016～2018 年度)
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-16K03164/2016/

基盤研究(C)「西アジア銅石器時代における土器の焼成温度と彩文顔料の通時的研究」(2013～2015 年度)
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-25370891/

基盤研究(C)「西アジア都市形成期の土器製作における顔料定着と還元焔焼成」(2010～2012 年度)
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22520772/

基盤研究(C)「西アジアの都市化における土器製作技術の多角的研究」(2007～2009 年度)
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-19520663/

奨励研究(A)「北シリアにおけるウバイド文化の社会復元」(1995 年度)
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-07710280/

■調査等活動

・海外調査

ILISU BARAJI-SALAT TEPE KURTARMA KAZISI PROJESİ (co-director)：トルコ、ディヤルバクルにてサラット・テペ遺跡出土資料調査（銅石器時代)、2014.7-10.

大阪学院大学調査隊（科研費研究協力者)：イラク・クルディスタン、スレイマニヤ博物館収蔵の楔形文書の産地同定とティグリス河流域の地質学的研究（銅石器～青銅器時代)、2014.2.

ILISU BARAJI-SALAT TEPE KURTARMA KAZISI PROJESİ (co-director)：トルコ、サラット・テペ遺跡発掘調査（銅石器時代)、2010～2013.

近畿大学調査隊（科研費研究協力者)：エジプト、ヒエラコンポリス遺跡発掘調査（先王朝時代)、2010.2-3.

個人調査（科研費研究代表者)：トルコ、ユーフラテス川上流域およびティグリス川上流域における遺跡踏査・遺物観察調査（銅石器時代)、2008.8-9.

個人調査（科研費研究代表者)：シリア、ユーフラテス川上流域および支流域における遺跡踏査・遺物観察調査（銅石器時代)、2007.9.

個人調査：イギリス、ケンブリッジ大学マクドナルド研究所およびマンチェスター大学収蔵遺物の観察調査（銅石器時代)、2006.3.

国士舘大学キシュ遺跡調査団（科研費研究分担者)：イラク、キシュ遺跡の第３次発掘調査、2001.10.（同時多発テロ事件により渡航前に調査中断、現在調査停止中）

東京大学西アジア遺跡調査団（科研費研究分担者)：シリア、テル・セケル・アル・アヘイマル遺跡発掘調査（新石器時代～銅石器時代)、2000.9-10.

東京大学西アジア遺跡調査団（科研費研究分担者)：シリア、アレッポにてテル・コサック・シャマリ遺跡出土遺物調査（新石器時代～銅石器時代)、1998～1999.

東京大学西アジア遺跡調査団（科研費研究分担者/東京大学研究基金研究分担者)：シリア、テル・コサック・シャマリ遺跡発掘調査、1994～1997.

東京大学西アジア遺跡調査団（科研費研究協力者)：シリア、ユーフラテス川上流遺跡踏査（新石器時代～青銅器時代)、1993.9-10.

個人調査：シリア、アレッポ博物館収蔵資料の観察調査（銅石器時代)、1993.9.

早稲田大学アブ・シール南丘陵頂部発掘調査団（科研費研究協力者)：エジプト、アブ・シール遺跡発掘調査（新王国時代)、1992.8-10.

東京大学西アジア遺跡調査団（科研費研究協力者）シリア、テル・カシュカショク遺跡 II 号丘発掘調査（新石器時代～銅石器時代)、1988.7-12.

個人調査：パキスタン、インダス文明遺跡（モヘンジョダロ、ハラッパーほか)・彩文土器の現地観察調査（青銅器時代)、1987.2-3.

・国内実験

科研費研究代表者、早大本庄校地、鍵穴型プラン土器焼成窯の構築、彩文土器焼成実験（2013～2015 年度）

科研費研究代表者、早大本庄校地、小型土器焼成窯の築窯、彩文土器焼成実験（2007～2012 年度）

個人、早大本庄校地、多目的実験窯の築窯、彩文土器焼成実験（1993～2006 年度）

■学会等活動

早稲田大学西アジア考古学勉強会（代表 1991 年度～)、日本オリエント学会、日本考古学協会、日本西アジア考古学会（総務役員 1996～2000 年度、編集委員 2001～2010，2013 年度～、編集委員長 2002～2003 年度、早稲田大学考古学会（編集委員 2006 年度～）

■講座活動

早稲田大学オープンカレッジ（1996 年度～)、浦和市民大学講座（1996 年度)、朝日カルチャーセンター（1999 年度～)、文京女子大学生涯学習センター（1999 年度)、朝霞市歴史発見講座（2000 年度)、渋谷区民大学講座（2003 年度)、文京区アカデミア講座（2013 年度）

■博物館展示

国立科学博物館・読売新聞主催 特別展「ワイン展 ―ぶどうから生まれた奇跡―」学術協力（図録執筆・展示企画)、2015.10～2016.2.

（以上）